

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団						
①	指標名	食育事業等（むさしの食育フェスタ、小学校給食体験講座）参加者数の前年度比増			目標値	令和 6 年度比増	実績値	フェスタ152人 講座 16人
	過去の実績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達成率	フェスタ 91% 講座 106.7%	達成状況	未達成
	（単位：人）	フェスタ 109 講座 23	フェスタ 142 講座 26	フェスタ167 講座 15				
	取組内容	・食育フェスタでは、「食と防災」というテーマのもと、調理実習「被災後の食事（簡単パスタと蒸しパンづくり）」を実施した。学校給食の試食では、子どもに人気のメニューの提供に加えて、市内農家のお話や財団動画鑑賞を実施した。 ・小学校給食体験講座は、未就学児の保護者を対象として「小学校の入学前に知りたい武蔵野市の給食」をテーマとして、給食試食、調理実演を行い、本市の給食の特徴や調理員の力量をPRした。						
	一次評価	・食育フェスタは定員以上の申し込みがあり、給食に対する評価と食育事業に対する要望の高さを改めて認識することができた（未達成の理由は、申し込み後のキャンセルがあったため）。 ・小学校給食体験講座も参加者の評価は高く、未就学児の保護者に市立小学校に入学することへの安心感及び給食への関心を高めてもらうという目的は達成されたものと捉えている。						
二次評価	参加者数は前年度を若干下回ったが、食育フェスタでは定員以上の申込があり、ニーズに応じた魅力的な事業を実施されていることを評価する。今後も各種食育事業を通じて、給食、食育の意義、必要性を周知していただきたい。							
②	指標名	学校給食提供コストの前年度比減			目標値	令和 6 年度比減	実績値	572円／食
	過去の実績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達成率	98.4%	達成状況	未達成
	（単位：円／食）	549	542	561				
	取組内容	・施設ごとに適正な職員数を把握するとともに、施設に応じた勤務時間、勤務形態で職員を配置した。						
	一次評価	従来のフルタイム勤務のパートナー職員ではなく、令和 3 年度の新桜堤調理場の稼働から試みている短時間勤務のパートナー職員を採用することで、コストの最適化を図っている。引き続き、人手不足や物価高騰などに対応しながら、持続可能な運営体制を検討していく。						
二次評価	目標値に対して、物価高騰という外的な要因により達成が難しい中、職員の適正配置等の工夫により、コスト削減に努められている点を評価する。							
③	指標名	執行体制の簡素・効率化 （市派遣職員の財団固有職員への段階的な移行、財団固有職員の技能及び責務の向上）			目標値	市派遣 0 人 固有昇任 2 人	実績値	市派遣 0 人 固有昇任 5 人
	過去の実績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達成率	250.0%	達成状況	達成
	（単位：人）	市派遣 0 固有昇任 5	市派遣 0 固有昇任 2	市派遣 0 固有昇任 3				
	取組内容	・財団の自律性とガバナンスを高めるために市派遣職員を増員しないようにし、財団固有職員の比率を上げることを継続した。 ・「技能長」の職に財団固有職員（統括主任）を 1 名昇任させ、財団固有職員の技能長を 2 名体制にした。 ・業務の高度化・多様化に伴い令和 3 年度から新たに設けた「統括主任」の職に財団固有職員（技能主任）を 3 名昇任させた。 ・栄養士の「主任」の職に財団固有職員（主事）を 1 名昇任させた。						
	一次評価	人材育成に取り組んだことにより、職員の能力が培われている。令和 7 年度から財団固有職員の係長職の「技能長」に 1 名昇任させていたため、市派遣職員技能長の最終年度に 1 年かけ円滑に引継ぎが行えた。令和 8 年度から更に 1 名を「技能長」に昇任させたことにより、財団の自律性とガバナンスを高めることに寄与するものと捉えている。						
二次評価	人材育成に積極的に取り組まれ、財団固有職員の比率を着実に高められている点を評価する。引き続き団体の自律的経営に資する取組みとして、人材の確保、育成に努めていただきたい。							